

がん関連肺塞栓症患者における臨床的特徴と予後に関する後方視的観察研究

1. 研究の対象

2021年1月1日から2024年12月31日までに当院の造影CTによって肺塞栓症と診断された方

2. 研究目的・方法

当センターでは、がん患者さんにしばしば見られる肺塞栓症(はいそくせんしょう)という病気について、詳しい調査を行うことになりました。肺塞栓症とは、足などの血管にできた血の塊(血栓)が肺の血管に詰まってしまう病気で、がんと診断された方では、この肺塞栓症になるリスクが高いことがわかっています。この調査は、今後より良い治療法を見つけるために大変重要です。当センターでは、がんの検査や治療の状況を詳しく見るために、多くの患者さんに造影CT検査を行っています。このCT検査で、たまたま肺塞栓症が見つかることがあります。しかし、このような「偶発的に見つかった肺塞栓症」の患者さんがどのような経過をたどるのか、詳しいデータが十分にありません。現在の肺塞栓症の重症度を測る方法は、急に症状が出た肺塞栓症を想定しているため、がんの患者さんの状況にそのまま当てはめるのが難しい場合があります。また、がんがあるだけで重症と判断されてしまうこともあります。そこで、当センターで肺塞栓症と診断されたがん患者さんの情報を詳しく調べることで、今後の治療方針を決める上で役立つ情報を得たいと考えています。

研究の目的

この研究では、当センターで肺塞栓症と診断されたがん患者さんの状況や治療経過などを詳しく調べ、どのような特徴があるのか、どのような治療が必要となるのかなどを明らかにすることを目的としています。

研究の方法

2021年1月1日から2024年12月31日までの間に当センターでがん登録を受け、かつ胸部造影CTが実施された患者さんの医療記録(電子カルテ情報)を後から詳しく調べ、統計学的な方法で比較検討を行います。

3. 研究期間

倫理審査委員会承認日～5年間

4. 研究に用いる試料・情報の種類

医療記録に登録された内容のうち、下記の情報等を詳しく調べます。

- 診断されてから90日以内の経過
- がんの種類および進行度
- がん治療の内容
- 足の血管に血栓が見つかったかどうか 等

5. 研究に用いる試料・情報の取得方法

医療記録から4の情報を取得します。

6. 試料・情報の公開

本研究成果については、個人が特定される情報を削除したうえで学会、論文等で報告する予定です。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には当該試料・情報の利用を行いません（利用を停止します）ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室780番地

TEL：048-722-1111／FAX：048-722-1129

埼玉県立がんセンター 総合内科(循環器科) 松居 一悠(研究責任者)